

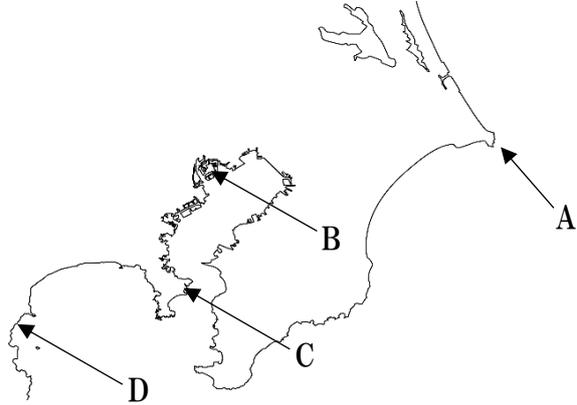
日本の開国.3

名前

解答

解答

問1 1853年に日本の浦賀に来航し、幕府に開国を求めた人物の名前とその役職を答えよ。また、浦賀を表すのは下図のA～Dのどれか。



- (名前:ペリー)
- (役職:東インド艦隊司令長官)
- (浦賀:C)

問2 日米和親条約でアメリカの領事が置かれることになった場所はどこか。 (下田)

問3 次の文章は日米和親条約の一部を要約したものである。括弧に入る語句を答えよ。

第2条 下田、(A)の両港は、アメリカ船のまきと(B)、食料、石炭、欠乏の品を、日本で調達することに限って、入港を許可する。

- (A:函館) (B:水)

問4 1855年にロシアと結んだ日露和親条約で、開港することが取り決められたのはどこか。

- (下田、函館、長崎)

問5 1855年にロシアと結んだ日露和親条約で、日本とロシアの国境はどこに定められたか。

- (択捉島と得撫島の間)

問6 次の文書の括弧に入る語句を答えよ。

1856年、アメリカ総領事として下田に来た(A)は、通商条約を結んで貿易を行うことを幕府に強く求めた。大老の(B)は、朝廷の許可を得ないまま(C)を結んだ。(C)により、函館、神奈川、長崎、(D)、兵庫の5港が開かれた。(C)は、日本に不利な内容である不平等条約だった。これは、アメリカに(E)を認め、日本に(F)がなかったためである。この後、幕府はオランダ・ロシア・イギリス・フランスともほぼ同じ内容の不平等条約を結んだ。これにより、江戸には、各国の外交官が駐在し、開港地では外国人との貿易が始まった。

- (A:ハリス) (B:井伊直弼) (C:日米修好通商条約)
- (D:新潟) (E:領事裁判権) (F:関税自主権)

